

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路構造改革補助事業(調査事業))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	<p>○郷ノ首～福江航路(五島旅客船株)</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該航路の現況把握 ・航路利用者等意識調査及び分析 ・航路診断 ・経営診断 ・航路改善方策の費用対効果の検証 ・航路改善方策 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航路の利用状況や人口推移等、各種統計データを基に調査分析を行った。 ・島内住民に対するアンケート調査を実施することとした。 ・上記データを基に次回分科会にて航路改善計画策定に向けた中間取りまとめを行う予定。 	A	<p>本調査事業において抽出された問題点を踏まえ、航路経営改善のための施策を検討し、生活交通ネットワーク計画等に平成31年度から順次盛り込んでいくこととする。</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①経営効率化による費用削減 ②ダイヤ見直しによる利便性の向上 ③世界遺産登録へ向けて交流人口拡大方策の展開 	<p>調査事業によって把握した将来の需要や利用者ニーズに対し策定した航路改善計画に沿って、船舶リプレイスを含む航路の維持や航路の安定的な確保など航路改善方策を地域や関係機関と一体となって継続的に実施し、更なる利便性の向上や航路収支の改善に努めることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (地域公共交通調査等事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路構造改革補助事業(調査事業))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長島航路対策協議会	<p>・本調査は、航路を取り巻く社会環境の変化や、住民及び航路利用者のニーズ等をアンケートにより把握するとともに、航路診断や経営診断をもとに、航路運営の安定化や航路サービスの維持・改善に向けた航路改善計画の策定を目的として実施した。</p> <p>・本航路は、平成26年10月より国庫補助航路として、国及び鹿児島県など公的支援を受けて、航路の維持が図られ、安定した運航と経営改善が進んでいる。</p> <p>・しかし、少子高齢化、過疎化の急速な進展により獅子島住民の利用が減少傾向にある。</p> <p>・また、使用船舶であるフェリーローザリオは、船齢30年を経過し、定期航路として安定的な運航を維持するうえで、船体の腐食や故障に伴う部品交換等の課題を抱えている。</p> <p>・こうした課題解決のため、航路利用者動向や、生活物資・産業用資材の輸送、住民・観光客等の移動手段、船舶の現状等を的確に精査した上で、航路利用促進や代替船導入による航路収支の改善に向けた方策を検討した。</p>	A	<p>・本調査事業において把握できた現行船舶の課題や航路利用の促進に関する課題を踏まえた航路経営改善のための施策を検討し、今後策定する生活交通確保維持改善計画(離島航路確保維持計画)に、盛り込んでいくものとする。</p> <p>(事業内容)</p> <p>1 航路利用促進に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子島島内における地域活性化事業との連携の検討 ・長島・天草エリアにおける地域間交流事業との連携の検討 ・長島・天草エリアを訪れる観光客等の誘客に向けた営業の検討 <p>・地域情報の発信の検討 ※航路利用者に関するデータベース化と利用分析の検討</p> <p>2 運航サービス向上に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運航案内の充実に向けた検討 ・船内での地域情報の発信の検討 ・乗船券販売所や船内での接客サービスの検討 <p>3 代替船建造の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船舶の旅客定員、積載量からみた船舶の規模、構造の検討 ・現有船舶のデザイン性の踏襲の検討 ・港での操船能力の検討 ・省エネ・効率化の検討 ・バリアフリー化等、船内での利用環境の検討 ・船員の労働環境の検討 ・太陽光発電等、環境配慮の検討 等 	<p>調査事業によって把握した将来の需要や利用者ニーズに対し策定した航路改善計画に沿って、船舶リプレイスを含む航路の維持や航路の安定的な確保など航路改善方策を地域や関係機関と一体となって継続的に実施し、更なる利便性の向上や航路収支の改善に努めることを期待します。</p>	